

## (6) 道路交通振動

搬入車両の通行ルート 2 地点で予測を行った結果、保全目標を満足しました。

地点	時間区分	現況	予測結果	生活環境 保全上の目標	評価
第一水光園 敷地境界西側 (地点図No.7)	昼間	41dB	42dB	55dB 以下	保全目標を 満足する
	夜間	28dB	28dB		
セブンイレブン 熊谷戸出店 (地点図No.3)	昼間	47dB	47dB		
	夜間	44dB	44dB		

※生活環境保全上の目標は、振動の感覚閾値（10%の人が感じるとされる振動レベル）です。

## (7) 悪臭

新施設の敷地境界での予測を行った結果、保全目標を満足しました。

地点	項目	現況	予測結果	生活環境 保全上の目標	評価
第一水光園 敷地境界 (地点図No.8)	臭気指数	10 未満	10 未満	10 未満	保全目標を 満足する

※悪臭防止法の規制基準は「臭気指数 18」です。

※生活環境保全上の目標は、臭気の現況が良好であることから、現況から増加しないこととしました。

## 5 総合評価

生活環境影響調査を実施した結果、大気質、騒音・振動、悪臭の全ての項目について、生活環境保全上の目標を満足しました。計画施設による周辺的生活環境への影響はほとんどなく、現在の環境から変わらないものと考えられ、十分に生活環境に配慮した事業計画であると判断されます。

## 6 環境保全対策

### (1) 大気質

- 搬入車両には、排出ガス規制適合車を使用します。
- 搬入車両の走行に際しては、規制速度を遵守するほか、空ふかしの禁止、急加速等の高負荷運転を避け、アイドリングストップを励行します。
- 搬入車両台数を記録することで、適切な運行管理の基礎資料とします。

### (2) 騒音・振動

- 発生源となる設備機器を建物内に収容することで、発生する騒音・振動を低減します。
- 必要な処理能力に見合った規模の施設に更新することで発生する騒音・振動を低減します。
- 施設の適正な運転管理を行い、過負荷運転を避け、騒音・振動の発生防止に努めます。
- 設備機器の定期的な保守点検を実施し、設備不良等による異音・がたつきの発生防止に努めます。
- 搬入車両の走行に際しては、規制速度を遵守するほか、空ふかしの禁止、急加速等の高負荷運転を避け、アイドリングストップを励行します。

### (3) 悪臭

- 発生源となる施設を建物内に収容することで、悪臭の漏洩を防止します。
- 受入室は、自動ドア等を設置することにより、搬入車両の出入り時の悪臭の漏洩を防止します。
- 各設備から発生した臭気は、脱臭設備で処理し、本施設の排出口に適用される規制基準を下回るまで脱臭したうえで臭突より排出します。
- 脱臭装置の適切な点検、整備を実施し、処理能力の維持に努めます。

## (仮称) 汚泥再生処理センター生活環境影響調査【概要版】

熊谷市では、第一水光園、荒川南部環境センター、妻沼南河原環境浄化センターの3つの施設においてし尿等の処理を行っています。し尿処理施設の持続性確保のため、既存3施設を集約した(仮称)汚泥再生処理センター(以下「新施設」という。)を、第一水光園の敷地内に整備します。

新施設の整備をすすめるにあたり、周辺地域の生活環境の保全に配慮するため「生活環境影響調査書」を作成しました。この資料は、「生活環境影響調査」の結果等の概要をお知らせするものです。

## 1 新施設の概要

項目	内容
設置者	熊谷市長 小林哲也
設置場所	熊谷市上之 3276 番地(第一水光園敷地内)
施設の種類	し尿処理施設
処理する廃棄物の種類	し尿、浄化槽汚泥、農業集落排水汚泥
処理能力	179 kL/日
処理方式	水処理方式: 固液分離希釈下水道放流方式 再資源化方式: 助燃剤化 臭気処理方式: 高中濃度臭気 → 薬液洗浄又は生物脱臭+活性炭吸着 低濃度臭気 → 活性炭吸着
受入時間	平日及び第 1、3、5 土曜日の午前 8 時 30 分~午後 4 時 30 分
稼働予定年度	令和 12 年度
放流先	流域関連公共下水道(上之幹線)

## 2 生活環境影響調査項目と調査時期

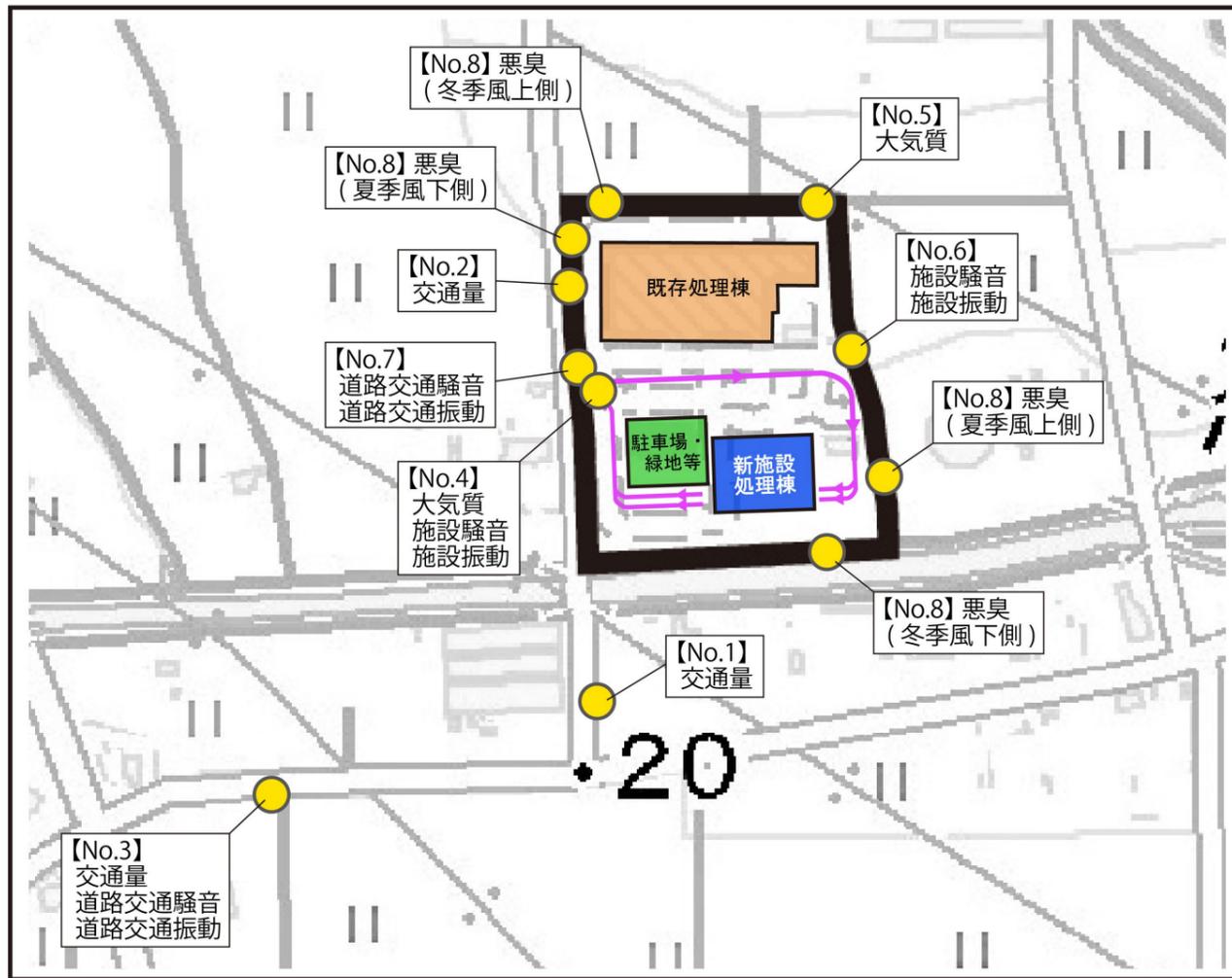
調査項目は、「廃棄物処理施設生活環境影響調査指針(環境省:平成 18 年 9 月)」に基づき、施設の事業特性を考慮して以下のとおり選定しました。

処理水は公共下水道へ放流するため、河川等の水質への影響はありません。このため、水質は調査事項から除いています。

調査 事項	生活環境影響要因		施設の 稼働	施設からの 悪臭の漏洩	運搬車両 の走行	調査時期
	調査項目					
大気質	二酸化窒素				○	令和 5 年 1 月 12 日(木) 午前 0 時~ 18 日(水) 午後 12 時 (1 週間 24 時間連続測定×7 日間)
	浮遊粒子状物質				○	
騒音	騒音レベル	○			○	秋季: 令和 4 年 10 月 19 日(水) 正午~ 20 日(木) 正午(24 時間)
振動	振動レベル	○			○	冬季: 令和 4 年 12 月 20 日(火) 正午~ 21 日(水) 正午(24 時間)
悪臭	臭気指数			○		夏季: 令和 4 年 8 月 24 日(水) 午前 11 時 15 分~午後 1 時 冬季: 令和 4 年 12 月 20 日(火) 午前 9 時 25 分~午前 10 時

※運搬車両の走行による大気質、騒音、振動への影響を予測するため、騒音・振動の調査時に、交通量の調査も併せて行いました。

### 3 生活環境影響調査地点



※新施設は、現在の第一水光園の処理棟の南側に整備します。

### 4 現況調査結果、予測・影響の分析及び評価

#### (1) 交通量

現況交通量に、荒川南部環境センターと妻沼南河原環境浄化センターから振り替えられる想定搬入車両台数を加えて、予測交通量を設定しました。交通量は上下線合計で、搬入車両の往復分を加味しています。

地点	車両区分	現況交通量	増加分	予測交通量
第一水光園 出入口南側 (地点図 No.1)	大型	140	44	184
	小型	280	0	280
	合計	420	44	464
第一水光園 出入口北側 (地点図 No.2)	大型	135	20	155
	小型	280	0	280
	合計	415	20	435
セブンイレブン 熊谷戸出店 (地点図 No.3)	大型	398	44	442
	小型	5,739	0	5,739
	合計	6,137	44	6,181

※単位：台/日

※搬入車両であるバキューム車は大型車両として扱いました。

#### (2) 大気質

搬入車両の通行ルート2地点で予測を行った結果、保全目標を満足しました。

地点	項目 (単位)	現況	予測結果	評価値	生活環境 保全上の目標	評価
第一水光園 西側道路付近 (地点図 No.4)	二酸化窒素 (ppm)	0.015	0.015	0.030	0.04 以下	保全目標を 満足する
	浮遊粒子状物質 (mg/m <sup>3</sup> )	0.017	0.017	0.043	0.10 以下	
第一水光園 北側道路付近 (地点図 No.5)	二酸化窒素 (ppm)	0.015	0.015	0.030	0.04 以下	
	浮遊粒子状物質 (mg/m <sup>3</sup> )	0.017	0.017	0.043	0.10 以下	

※評価値は、環境基準と比較する値で、予測結果から統計的に計算される値です。1時間値の年平均値について、二酸化窒素は「日平均値の年間98%値」へ、浮遊粒子状物質は「日平均値の年間2%除外値」へ換算しています。

※生活環境保全上の目標は、大気の汚染に係る環境基準です。

#### (3) 施設の騒音

敷地境界2地点で予測を行った結果、保全目標を満足しました。

地点	時間区分	現況	予測結果	生活環境 保全上の目標	評価
第一水光園 敷地境界東側 (地点図No.6)	朝	46dB	46dB	50dB 以下	保全目標を 満足する
	昼間	45dB	45dB	55dB 以下	
	夕	41dB	42dB	50dB 以下	
	夜間	44dB	44dB	45dB 以下	
第一水光園 敷地境界西側 (地点図No.4)	朝	47dB	47dB	50dB 以下	保全目標を 満足する
	昼間	55dB	55dB	55dB 以下	
	夕	43dB	43dB	50dB 以下	
	夜間	43dB	43dB	45dB 以下	

※生活環境保全上の目標は、騒音規制法の規制基準です。

#### (4) 道路交通騒音

搬入車両の通行ルート2地点で予測を行った結果、保全目標を満足しました。

地点	時間区分	現況	予測結果	生活環境 保全上の目標	評価
第一水光園 敷地境界西側 (地点図No.7)	昼間	60dB	60dB	65dB 以下	保全目標を 満足する
	夜間	46dB	46dB	60dB 以下	
セブンイレブン 熊谷戸出店 (地点図No.3)	昼間	66dB	66dB	66dB 以下	
	夜間	57dB	57dB	60dB 以下	

※生活環境保全上の目標は、道路に面する地域の環境基準です。ただし、セブンイレブン熊谷戸出店(昼間)は、交通量が多く現況で環境基準を超過しているため、現況の騒音レベルと変わらないことを目標としました。

#### (5) 施設の振動

敷地境界2地点で予測を行った結果、保全目標を満足しました。

地点	時間区分	現況	予測結果	生活環境 保全上の目標	評価
第一水光園 敷地境界東側 (地点図No.6)	昼間	50dB	50dB	60dB 以下	保全目標を 満足する
	夜間	49dB	49dB	55dB 以下	
第一水光園 敷地境界西側 (地点図No.4)	昼間	41dB	41dB	60dB 以下	
	夜間	40dB	40dB	55dB 以下	

※生活環境保全上の目標は、振動規制法の規制基準です。